



いかがでしたか、3学期の子どもたち

29日(木)、最低気温がマイナスという厳しい寒さの中、学校公開へのご参加、ありがとうございました。朝一番から始まったウインターフェスティバルは、のべ50名ほどの保護者の方に参観していただきました。3学期に入ってから、フェスティバルに必要な道具類を作り、前日には1時間ほどかけて会場設営をしてくれた6年生の子どもたちの活躍ぶりをご覧いただけましたでしょうか。また、高学年だけでなくどの学年も活躍の場があるようにとの工夫もされていました。そして、フェスティバルが終わった次の時間(3時間目)には、学級活動の場で振り返りをし、班のみんなは役割を果たし、楽しむことができたか、他の班の友達を楽しませることができたか、などを確認し合いました。6年生にとっては、なかま活動の集大成として、充実した活動ができたのではないのでしょうか。

3時間目からの授業参観にも、多数の保護者の皆様にご参観いただくことができました。きっと、夕飯の席では、学校での授業やなかま活動についての話に花が咲いたことと思います。

仮装福笑い集会パート2



「なかまで協力して、顔を作ったり服を着たりして楽しく遊ぶ」というねらいで、児童会主催の集会が行われました。なかま班のメンバーが、二人一組になって福笑いのパーツをえらび、サブリーダーに渡します。さらに、それを6年生のリーダーに渡して、作り上げていくというものです。

手をつないだ二人組のなかまたちが、リレー形式で次々とパーツを渡していきます。舞台裏では、パーツがそろったチームからお召し替えです。「え～、これを着るの」と声を上げながらも、リーダーたちは、なかまのみんながそろえた衣装を身につけていきます。



そのあとは、一人ずつ全校のみんなにお披露目。そのユニークな姿に、みんな大笑いしました。まさしく「福笑い集会」でした。児童会役員さん、そしてリーダーさん、本当に楽しい集会をありがとうございました。これで、秋竹小にもたくさんの福がやってくることでしょ

朝礼で全校合唱

朝礼では、いつも全校合唱をしています。今月の歌は、「北風小僧のかんたろう」たいへんノリのよい曲なので、特に低学年には人気のある曲です。

♪きたかせ～こぞうのかんたろう～(かんたろう!)

ことしも まちまでやってきた～♪

教室では、思いっきり歌う1年生も、恥ずかしさからか(?)体育館ではちよっぴり遠慮気味。でも、「かんたろう!」という合いの手は、元気よく入ります。また、歌いながら足でリズムをとっている3年生の姿も、...

大人でも何となくけだるさを感じてしまう月曜日の朝ですが、朝礼の時に元気よく歌うことで、いつものペースを取り戻せるようです。

今日は、節分



節分とは、「季節を分ける」ことを意味し、本来は立春、立夏、立秋、立冬の前日のことをいいます。しかし旧暦では立春が年の始まりにあたることから、いつのころからか節分といえば、立春の前日をさすようになりました。立春を新年と考えれば、節分は大晦日。特別な意味を持つようになったと思われ

ます。節分は大晦日にあたることから、節分の日に邪気を祓い、新年を幸多き年として迎えられるようにという意味を込めて「追儼(ついな)」の行事が行われます。追儼とは悪鬼・疫癘(えきらい)を追い払う儀式のことで、新年を迎える行事として中国で行われていたものが日本に伝わり、宮中行事として行われるようになったそうです。それが次第に庶民にも伝わり、節分行事が行われるようになりました。

